

令和6年度公共用水域の水質測定結果について

令和7年12月25日
環境・ゼロカーボン推進課

愛媛県環境審議会の答申を受けて策定した「令和6年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき調査した結果は、次のとおりでした。

- 1 調査期間 令和6年4月～令和7年3月
- 2 実施機関 愛媛県、松山市、国土交通省、独立行政法人水資源機構
- 3 測定項目及び調査地点

区分		生活環境項目	健康項目	ダイオキシン類	要監視項目	その他
項目数		13	27	1	30	14
地点数	河川	74	38	8	34	30
	湖沼	8	6	0	1	8
	海域	129	24	4	16	25

4 調査結果の概要等

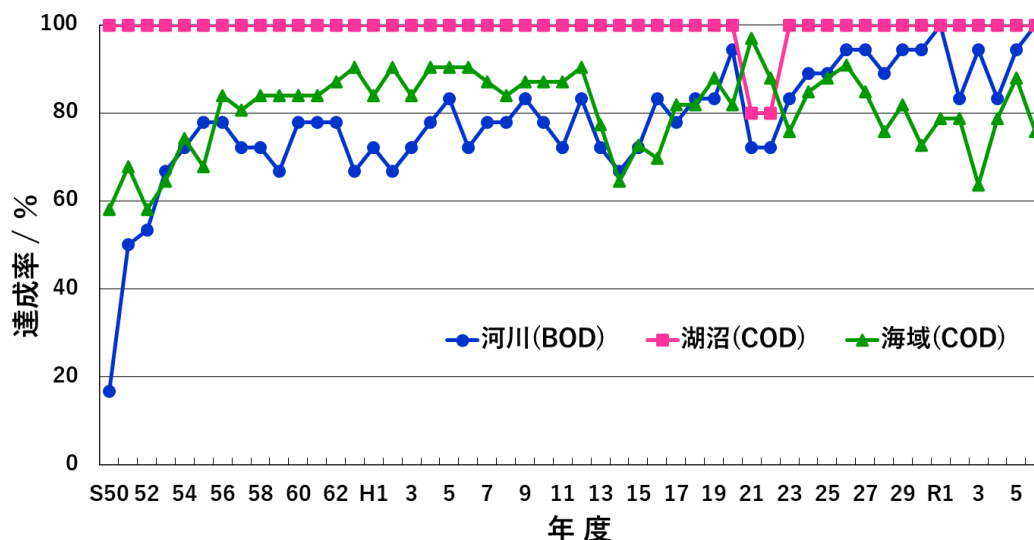
(1) 生活環境項目

ア 環境基準点における環境基準の達成状況は、河川(BOD)及び湖沼(COD)が100%、海域(COD)が76%であり、全体では85%であった。

BOD又はCODの環境基準の達成状況

区分	令和6年度		令和5年度	
	達成率	達成水域数／調査水域数	達成率	達成水域数／調査水域数
河川	100%	16/16	94%	17/18
湖沼	100%	5/5	100%	5/5
海域	76%	25/33	88%	29/33
合計	85%	46/54	91%	51/56

環境基準達成率の経年変化（BOD又はCOD）



○未達成水域の状況等

区分		令和6年度	令和5年度
河川	AA類型	—	石手川（乙）
海域	A類型	伊予三島・土居海域、新居浜海域（丙）、西条海域（丙）、東予海域（丙）、宇和海一般、燧灘北西部、燧灘東部	伊予三島・土居海域、新居浜海域（丙）、西条海域（丙）、東予海域（丙）
	B類型	宇和島港	—

イ 大腸菌数の環境基準の達成状況

区分	令和6年度		令和5年度	
	達成率	達成地点数／調査地点数	達成率	達成地点数／調査地点数
河川	30%	12/40	30%	12/40
湖沼	100%	4/4	100%	4/4
海域	98%	50/51	94%	48/51
合計	69%	66/95	67%	64/95

ウ 全亜鉛、ノニルフェノール及びLASの環境基準の達成状況

項目	令和6年度	令和5年度
全亜鉛	100%（4水域）	100%（4水域）
ノニルフェノール	100%（4水域）	100%（4水域）
LAS	100%（4水域）	100%（4水域）

エ 全窒素及び全りんの環境基準の達成状況（海域のみ）

項目	令和6年度	令和5年度
全窒素	100%（5水域）	100%（5水域）
全りん	100%（5水域）	100%（5水域）

(2) 健康項目

調査を実施した68地点（河川38地点、湖沼6地点、海域24地点）全てにおいて、環境基準を達成した（令和5年度は1地点でほう素が環境基準を超過）。

健康項目の調査結果概要

（単位：mg/L）

項目	調査結果	環境基準
カドミウム	<0.0003～0.0003	0.003以下
全アンモニア	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005～0.0015	0.01以下
六価クロム	<0.02	0.02以下
砒素	<0.001～0.005	0.01以下
総水銀	<0.0005	0.0005以下
メチル水銀	<0.0005	検出されないこと
PCB	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	0.02以下
四塩化炭素	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	0.004以下

1,1-ジクロロエチレン	<0.002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	0.006以下
トリクロロエチレン	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	<0.001	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	0.002以下
チラム	<0.0006	0.006以下
シブジン	<0.0003	0.003以下
チオベンカルブ	<0.002	0.02以下
ベンゼン	<0.001	0.01以下
セレン	<0.002	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<0.02～1.3	10以下
ふっ素	<0.1～0.37	0.8以下
ほう素	<0.1～0.15	1以下
1,4-ジメチル	<0.005～0.015	0.05以下

(3) ダイオキシン類

調査を実施した12地点（河川8地点、海域4地点）のうち、11地点で環境基準を達成した（令和5年度は全て達成）。河川（水質）1地点で基準値を超過した。

ダイオキシン類の調査結果概要

区分	水質 (pg-TEQ/L)			底質 (pg-TEQ/g)		
	地点数	調査結果	環境基準	地点数	調査結果	環境基準
河川	8	0.066～2.5	1 以下	6	0.23～7.9	150 以下
海域	4	0.060～0.067		4	0.85～4.1	

ダイオキシン類の基準値超過地点

調査機関	調査地点	水質 (pg-TEQL)	備考
愛媛県	広江川（西条市）	0.38～4.6	水田除草剤由来と推定

(4) 要監視項目

調査を実施した51地点（河川34地点、湖沼1地点、海域16地点）において、2地点でアンチモンが、2地点で全マンガンが、1地点でウランが指針値を超過した（令和5年度は2地点でアンチモンが、1地点で全マンガンが、1地点でウランが指針値を超過）。

※PFOS及びPFOAの調査を実施した29地点において、指針値の超過はなかった。

要監視項目指針値超過地点の調査結果概要

(単位：mg/L)

区分	超過地点	項目	調査結果 (年平均値)	指針値	要因等
河川	加茂川水域St-7	アンチモン	0.083	0.02 以下	地質由来
	砥部川水域St-2		0.043		
	野村ダムサイト	全マンガン	1.4	0.2 以下	
	柳瀬ダム堰堤		0.3		
海域	松山海域St-8	ウラン	0.0031	0.002 以下	海水由来

(5) その他項目

内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン物質）については、調査を実施した5地点（河川1地点、海域4地点）全てにおいて、検出されなかった（令和5年度も同様）。

内分泌攪乱化学物質の調査結果概要

(単位：μg/L)

区分	調査地点数	4-オクチルフェノール	ビスフェノールA	DDT
河川	1	N.D.	N.D.	N.D.
海域	4	N.D.	N.D.	N.D.
定量下限値	—	0.01	0.01	0.05

注) N.D.：検出されず